

タイトル	北海学園 レスブリッジ大学教員交換プログラム V2(3) : 派遣準備およびレスブリッジでの生活
著者	上野, 之江; UENO, Yukie; 赤石, 篤紀; AKAISHI, Atsunori
引用	北海学園大学学園論集(183): 97-135
発行日	2020-11-25

# 北海学園—レスブリッジ大学教員交換プログラム V2(3)

—— 派遣準備およびレスブリッジでの生活 ——

上 野 之 江  
赤 石 篤 紀

## 目次

1. はじめに
2. 派遣準備
3. 現地での生活
4. 帰国に向けて
5. おわりに

## 1. はじめに

40年あまり続くこの教員交換プログラムは2大学の交換事業のうちの一つである。現地での生活も Exchange（交換）の精神を持って臨むとよいだろう。すなわち Give and Take である。レスブリッジ大学でゲストとしてお世話していただくだけでなく、同僚として対等に接するのがよいと思う。カナダの文化に触れ享受するだけでなく、自分の持っている知識や技術、日本文化について機会があれば積極的に披露し与えることも忘れてはならない。お互いの文化、生活を学びあいより深く知ることで強い絆が生まれるはずである。

渡航準備の煩雑さを軽減できるよう、本稿では、交換教授の準備及び現地での生活について紹介する。その目的は、上野・赤石（2020a）で述べたように、北海学園大学から交換教授としてこのプログラムに参加する人々に具体的な情報を提供することにある。本稿では主に北海学園大学からレスブリッジ大学へ派遣される時の準備と現地の生活を中心に説明する<sup>1</sup>。

## 2. 派遣準備

### 2.1 渡航までのスケジュール

渡航の前年秋頃に交換プログラム交換教授として承認を受けてから、準備が始まる。以下、渡航までのスケジュール（図表1）を上野・赤石が派遣された2017-18年度を例に紹介する。

<sup>1</sup> 北海学園—レスブリッジ大学教員交換プログラムの概要については上野・赤石（2020a）を、同プログラムでの講義の詳細については上野・赤石（2020b）を参照されたい。

図表1 渡航までのスケジュール (主な準備と提出物) 2018年度派遣の場合

派遣前年度 2017年10月	Personal History (英文による履歴書) を, 法人経由で, レスブリッジ大学に提出する。
2017年12月	交換プログラム派遣教授として承認される。
派遣年度 2018年2月	レスブリッジ大学学長からの招請状他, 就労ビザの申請に必要な書類一式が届く。
2月	ビザ申請センターを通じて, 就労ビザの申請を行う。
3-4月	航空券を手配する。 インターナショナルセンターの担当職員に対して, レスブリッジ到着日時, 離任の日時を連絡する。
6月	講義シラバスを, レスブリッジ大学に提出する。
7月	北海学園大学 (学部事務) に, 在外研修・海外出張届を提出する。
8月	荷物を郵送する。 授業の準備をする。

渡航までの準備として大きなものは, 1) 就労ビザ (Work permit) の申請の申請, 2) 航空券の予約, 3) 講義シラバスの送付である。

## 2.2 就労ビザ (work permit) の申請<sup>2</sup>

### 2.2.1 申請書類の作成タイムライン

2月から3月にかけて, 就労ビザ申請に必要な雇用番号 (Offer of Employment Number) がレスブリッジ大学から届く。それを就労ビザの申請書類に記載し他の必要書類を添付して, 申請を行う。経験則的には, 3月末までに申請を完了することを強く勧める。

Webサイトには, 2週間程度で, 就労ビザの承認が行われると記載されているが, 1ヵ月程度はかかる。また, 不測の事態でレスブリッジ大学の担当者と連絡を取らなければならない場合もあるかもしれない。その場合, 4-5月になるとレスブリッジ大学は夏休みに入り, 担当職員とのメールのやりとりも遅くなりがちである。旅程を含めたすべての書類作成業務は4月末までには

<sup>2</sup> 交換教員としての給与等がレスブリッジ大学から支給される兼ね合い, そして身分保障の観点から, 赴任にあたっては就労ビザの取得が必須となる。

就労ビザの申請については, 代行業者を利用するか, 自力 (書類申請) で行うことになる。ここでは, 自力で申請を行う場合の手順について, 2018年2月段階の情報に基づき, 述べるものとする。なお, いずれの場合であっても, 必要な費用は, 自身で負担しなければならない (ビザ申請に必要な費用は, 支度金の中に含まれると解されるため)。

ビザ申請代行業者 (イージスグローバルサポート-<https://aegisgs.com/>) を使う場合, 基本料 36,300 円 + 戸籍謄本の翻訳料 5,000 円が別途かかる。また, 代行業者を利用する場合, 提供資料として最終学歴となる学位証明書 (英文) も要求される。

終わらせたい。そのためにもビザ申請は3月末完了を目指すといよい。

### 2.2.2 申請書類に必要な書類

カナダビザ申請センター (VFS.GLOBAL) の Web サイト<sup>3</sup> から、就労ビザの申請のために必要な書類を調べる。

「ビザの種類」⇒「就労許可証」⇒「Get a work permit」⇒「Temporary workers」⇒「Types of work permits」と進み、必要書類を確認する。なお、対象の Work permit は、「An employer specific work permit」であり、われわれ交換教員の仕事のタイプは、「an academic (visiting professor)」となる。

ビザ申請の方法としては、オンラインと書面による2つの方法があるが、大学事務からは、代行業者を使わない場合には、書面による申請を行うように指示される。したがって、書類による申請を行う場合には、Web サイト中の「Apply on paper」の項をみながら、必要書類を確認し、申請書類 (IMM1295) をダウンロードする。なお、各種書類のダウンロードに使うブラウザは IE でなければならない。

図表 2 は、2019 年 2 月時点における申請書類と添付書類の一覧である。申請書類の A)IMM1295 および B)IMM5707 については記述例を、添付書類 a)～g)については 2018 年度のものを、参考資料として巻末に掲載しているので、参考にされたい。

### 2.2.3 就労ビザの申請料金などの支払い

申請書類の準備ができたなら、Web サイト中の「Pay your fees」より、「Japan」, 「Temporary residence」, 「Work permit」を選び、書面による申請の場合には「Pay your fees online for a paper application」に進む。

「Work permit (including extensions)-per person」と「Biometric (生体認証 (写真と指紋登録) のための費用)」の数量をそれぞれ「1」とし、代金の支払い (クレジットカード利用) を行う (各 150 ドル, 85 ドル)<sup>4</sup>。

なお、就労ビザには、eTA が含まれるので、eTA の申請は不要である。

### 2.2.4 家族を同伴する場合

教員交換プログラムによるカナダ滞在は、ビザなしでの滞在が認められる 6 ヶ月以内なので、同行家族のビザ申請は特に必要ない。同行家族については、ビザなし入国に必要な eTA 申請の

<sup>3</sup> <https://www.vfsglobal.ca/canada/japan/japanese/index.html>

<sup>4</sup> 2019 年以降、生体認証登録が義務付けられたため、この登録を行っていない場合には、登録のために、カナダビザ申請センターに向かう必要がある。

なお、一度、生体認証登録を行うと、10 年間は有効となる (パスポートが更新されても)。

みを行えばよい。

就学予定の子どもについても、就労ビザの発行予定者となる交換教員の18歳未満の子であれば、就学ビザの事前申請を行わなくともよい。就学予定の子どもについては、入国時に就学の意思を聞かれ、就学が可能なビジタービザ (Visitor Record) が発給される (2018年9月現在)<sup>5</sup>。

図表2 Work permit 申請書類<sup>6,7</sup>

<p><b>申請書類</b></p> <p>A) Application for Work Permit made outside of Canada (IMM1295) B) Family Information Form (IMM5707)</p> <p><b>添付書類 (コピー可)</b> <u>北海学園大学証明の英文書類 (大学のレターヘッド付便箋への印刷+学長サイン)</u></p> <p>a) 在職履歴証明書 b) 雇用証明書 c) 派遣証明書</p> <p><u>レスブリッジ大学から提供の書類</u></p> <p>d) Contract e) Employer Letter f) Qualification Letter g) LMIA 免除 \$230 の支払レシート (コピー)</p> <p><u>自身で作成する書類</u></p> <p>h) CV (履歴書および業績目録) i) 戸籍謄本とその英訳</p> <p><u>その他</u></p> <p>j) 証明写真 (3.5 cm × 4.5 cm) k) 自身のパスポート l) パスポートのコピー (本人+同伴家族分) m) Work permit 申請代金 (\$155) および生体認証料金 (\$85) の領収書 (Web にて事前支払)</p>
--

## 2.2.5 ビザ申請センター

### 生体認証登録

2.2.2 でみた書類一式の準備を終え、Web サイトを通じて、申請代金と生体認証登録代金を支払ったら、数日内で「生体認証手続用のレター」(図表3) が発行される。同レターが発行された

<sup>5</sup> ビザなし滞在が可能な6ヵ月を超える期間、帯同する子供が現地学校に就学する必要がある場合には、就学ビザの事前申請が必要となるが、交換教員の派遣期間は4ヵ月であるため、同行する子どもの就学ビザは不要となる。

<sup>6</sup> IMM1295の作成には、Labour Market Impact Assessment (LMIA) No の記入が必要となる。これは、レスブリッジ大学から通知される。

<sup>7</sup> 図表2の「自身で作成する書類」のCVと戸籍謄本の英訳については、大学のレターヘッド付便箋への印刷を行うことはできるが、大学からの証明印がつかない。そのため、戸籍謄本の英訳については、何らかの形で、Verifyの必要があるかもしれない。2018年度の場合、申請者自身の手で英訳書面を作成して提出したが、問題はなかった。

図表3 生体認証登録手続き用のレター (一部抜粋)

Immigration, Refugees and Citizenship Canada / Immigration, Réfugiés et Citoyenneté Canada

Date: January 13, 2020

UCI: 110 [redacted]

Application No.: W30 [redacted]

Atsunori Akaishi  
[redacted]  
Sapporo-shi Hokkaido [redacted]  
Japan

**Biometric Instruction Letter**

Dear Atsunori Akaishi,

This letter refers to your application to Immigration, Refugees and Citizenship Canada (IRCC) for one of the following documents:

- temporary resident permit;
- work permit;
- study permit;
- temporary resident visa;
- visitor record;
- permanent resident application; or
- permanent resident card renewal.

Under the *Immigration and Refugee Protection Act (IRPA)* and its *Regulations*, you are required to have your fingerprints scanned and your photograph taken (your biometrics) at a biometric collection service point to help Visa Officers determine if you may enter or stay in Canada. Most applicants will need to give their biometrics at a biometric collection service point abroad **before** they travel to Canada.

Only those who are eligible to apply for a work permit or a study permit at a designated port of entry can give their biometrics upon arrival.

ら、30日以内に、東京の浜松町にあるカナダビザ申請センター（東京都港区芝1-4-3 SANKI 芝金杉橋ビル4F）に出向き、生体認証登録（指紋と顔写真の登録）を行う。この登録は、予約が必要となるため、カナダビザ申請センターのサイトから、日時の予約を行う。生体認証登録自体の所要時間は、待ち時間を含めて20-30分である。

### 書類によるビザ申請

書類によるビザ申請を行う場合には、生体認証登録時に、合わせて必要書類一式の提出を行うことになる。所定の代金（2018年申請時：申請サービス代金9,645円＋書類返送料1,975円）を支払い、書類を提出する。このとき、手続き状況の追跡番号が付与され、必要に応じてWeb上で手続きの進捗状況を確認できる。

郵送による申請も可能であるが、ビザ申請センターに持参した場合には、受付担当者がその場で書類をチェックするので、不備がある場合の対応を素早く行うことができる。生体認証登録を行う必要がある場合には、結局、ビザ申請センターに出向くことになるので、郵送による申請を行うことはない。

ビザ申請センターの職員は親切で、電話やメールでの相談にも迅速に対応してくれる。子細なことでも遠慮なく相談するとよい。連絡先は、カナダビザ申請センターのWebサイトに記載されている。

## 2.2.6 ビザの承認

書類提出から概ね2週間から1ヵ月で、申請が受理され、就労ビザの承認通知レター(図表4)、生体認証登録情報レター(図表5)とともに、提出書類が郵送により返却される<sup>8</sup>。これら一式をカナダ入国時の空港に入国審査官に提出すると、別室に行くように指示され、そこで就労ビザの発給手続きを行う。就労ビザの発給手続きは、20-30分である。

この就労ビザの承認通知レターは、カナダ入国時に必要なeTAも含んでいるので、飛行機に搭乗するときに、必ずパスポートと共に携行しなければならない。

図表4 就労ビザの承認のレター

The figure shows two pages of a Canadian work permit approval letter. The left page is addressed to ATSUNORI AKAISHI and contains personal information fields, a permit type (WP/Permis - PT), and validity dates (2018/12/17 to 2023/03/13). The right page contains detailed instructions for the applicant, including requirements for passport validity, eTA, and health insurance, as well as contact information for the Canadian Embassy in Manila.

図表6は、就労ビザのである。図表4の就労ビザの承認通知レターに記載されている期限は、レスブリッジ大学との雇用期間に対応した日付となっているが、入国時点での帰国予定日に応じて延長・修正されるようである。

## 2.3 航空券の予約と荷物の発送

### 2.3.1 航空券の予約

レスブリッジに向かう往復路の経路は、交換教員が自由に決めることができる。したがって、

<sup>8</sup> 入国審査時にこれらの書類が必要となるため、機内持込の荷物に含めておく必要がある。

図表 5 Biometric Information letter (一部抜粋)

Immigration, Refugees and Citizenship Canada / Immigration, Réfugiés et Citoyenneté Canada

Date: January 27, 2020  
 LCI: [Redacted] Application No. W00: [Redacted]

ATSUNORI AKAIISHI  
 Sapporo-shi Hokkaido Japan

Dear ATSUNORI AKAIISHI,

**RE: validity of your biometric information**

Thank you for providing your biometric information (i.e. digital fingerprints and photograph) in support of your temporary resident application to Canada. The purpose of this letter is to notify you that your biometric information is valid until: 2030/01/27 (yyyy/mm/dd) for subsequent temporary resident applications to Canada.

**What you need to know for subsequent temporary resident (TR) applications:**

- Please keep this letter for future reference. Your biometric information must be valid for the duration of your temporary stay in Canada.
- You will not be required to provide your biometric information again in support of any subsequent temporary resident applications you make within the validity date indicated above.
- However, if you wish to extend the validity of your permit or visa beyond the validity date indicated above you can provide your biometric information again and pay the associated fee for another ten-year validity.
- Please note that you will be required to provide your biometric information in support of any permanent resident application, even if you apply within the validity date indicated above.
- In addition to this letter, you can check the validity date of your biometric information using:
  - your MyAccount at [www.cic.gc.ca/English/e-services/myaccount.asp](http://www.cic.gc.ca/English/e-services/myaccount.asp)
  - the Biometrics Validity Tool that is available on Immigration, Refugees and Citizenship Canada's website at [www.cic.gc.ca](http://www.cic.gc.ca)

Canada

図表 6 就労ビザ

Immigration, Refugees and Citizenship Canada / Immigration, Réfugiés et Citoyenneté Canada

ATSNORI AKAIISHI

Application/Demande: [Redacted] UCHUC: [Redacted]

**CLIENT INFORMATION/INFORMATION DU CLIENT**

Family Name/Nom de Famille: AKAIISHI  
 Given Name(s)/Prénom(s): ATSNORI  
 Date of Birth/Date de naissance: [Redacted] (yy/mm/dd) (mm/aaaa)  
 Sex/Sexe: MALE  
 Country of Birth/Pays de naissance: JAPAN  
 Country of Citizenship/Citoyen de: JAPAN  
 Travel Doc No./N° du document de voyage: [Redacted] PASSPORT

**ADDITIONAL INFORMATION/INFORMATION SUPPLÉMENTAIRE**

Date Issued/Déposé le: 2018/08/29 (yy/mm/dd) (mm/aaaa)  
 Expiry Date/Date d'expiration: 2018/12/29 (yy/mm/dd) (mm/aaaa)  
 Case Type/Catégorie de cas: ST  
 LMA or Exempt No./N° de FEMT ou Dispense: [Redacted]  
 Employer/Employeur: THE UNIVERSITY OF LETHBRIDGE  
 Employment Location/Emplacement de l'emploi: LETHBRIDGE  
 Occupation/Profession: VISITING EXCHANGE PROFESSOR  
 In Force From/En vigueur le: 2018/08/29 (yy/mm/dd) (mm/aaaa)

Conditions:

Remarks/Observations:  
 VISITING EXCHANGE PROFESSOR WITH THE UNIVERSITY OF LETHBRIDGE FROM 05 SEP 2018 TO 17 DEC 2018.

\*\*\*THIS DOES NOT AUTHORIZE RE-ENTRY/CECI N'AUTHORISE PAS LA RÉ-ENTRÉE\*\*\*

THE FORM HAS BEEN ESTABLISHED BY THE MINISTER OF IMMIGRATION, REFUGEES AND CITIZENSHIP - THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF THE GOVERNMENT OF CANADA.  
 LE FORMULAIRE ÉTABLI PAR LE MINISTRE DE L'IMMIGRATION, RÉFUGIÉS ET CITOYENNETÉ - CE DOCUMENT APPARTIEN À LA PROPRIÉTÉ DU GOUVERNEMENT DU CANADA.

IM 1443 (04-05) Canada

往復路において、米国などへの立ち寄りが可能である<sup>9</sup>。レスブリッジ大学への赴任に直接的に寄与しない行程については、2.4で示すように、他公費を用いた旅行とするか私事旅行とし、追加の申請書を添付する。

旅程を組むに当たっての留意点は下記の通りである。

1. 時差ぼけの解消、生活準備、事前の打ち合わせに対応するために、講義開始の1週間前には、レスブリッジに到着しておきたい<sup>10</sup>。
2. 最終的な就労ビザの発給は、最初にカナダに降機した場所でのイミグレーションとなるため、乗り継ぎには余裕をもっておきたい<sup>11</sup>。

<sup>9</sup> 2018年9月現在、米国では、法的に認められた理由がない限り、米国を含む北米でのビザなし滞在の期限が90日以内である点に留意が必要となる。往復路ともに米国への立ち寄りを計画する場合には、結果として北米での滞在が120日以上となってしまうため、米国便の搭乗に際しては、正当な渡航目的と期間が明記された書類の提示が求められることがある。本人については、就労ビザが発給される予定であることを示す書類で事足りるが、家族を同伴する場合には、別途、レスブリッジ大学側に、家族分の招聘状を用意してもらう必要がある(巻末資料参照)。

<sup>10</sup> レスブリッジ大学の雇用期間の前後1週間のレスブリッジにおける滞在については、事前準備並びに事後処理のための業務扱いとなり、北海学園の海外出張手当の対象期間とすることができる。

<sup>11</sup> 本人のビザ発給で30分程度の時間がかかる。現地为学校に就学する子供を帯同する場合には、子供のVisitor Recordの発給も行うことになるので、子供1人につき20分程度の時間が必要となる。カルガリーで入国審査を受ける場合は、比較的空いていて時間的に余裕がある。バンクーバーでの入国審査は

3. 行程を自由に設定することができるが、入国手続きを円滑に進めるために、カナダへの入国場所は、利用者の多いバンクーバーやトロントを避け、カルガリーにしておくことが望ましい<sup>12</sup>。

また、往復の飛行機代については、レスブリッジ大学からの支給となる<sup>13</sup>。そのため、レスブリッジ大学の提出用として、英文の領収書を準備しておくことが望ましい。

### 2.3.2 荷物の送付

出国に先立ち、レスブリッジ大学に荷物を送付する場合、インターナショナルセンターの担当職員を宛先とする。荷物の発送に際しては、詳細な目録が必要となる。

SEAL 便利用で、到着まで約2週間であった。送料は、22 kg-23 kg で、21,650 円であった。船便を利用すると約1ヵ月で到着する。冬物などは船便で送って十分間に合う。本人の到着前に届いた荷物は、宿舎となるアパートメントに置いてあった。

## 2.4 その他の準備活動

### 2.4.1 学内書類の作成

派遣される前年10月に、英文によるCV(履歴書、業績一覧)の作成が大学法人より求められるので、これを作成する。

その後、派遣される年の6月に、交換プログラムに基づく海外出張届を作成し、Eチケットの写しを添付して、学部事務に提出する。その後、学長より辞令が交付され必要経費が支給される。支度料として10万円が北海学園大学より校費として支給される。往復の旅費、滞在費はレスブリッジ大学より、既定の額が支給される<sup>14</sup>。

2.3でみたように、往路・復路で他の都市にストップオーバーしたり滞在したりすることができる。そこでの費用は私費もしくは他の経費を利用することになる。この場合に、海外出張願の提出時にすべての予定を網羅し、同願にすべて記載するとともに、私事旅行願などの必要な書類を添付する必要がある。ただし、いったん大学法人で承認された旅程は、特殊な事情がない限り、変更することはできない。

---

同時に到着する航空機が複数にあり、大変混雑する。1時間以上予定する必要がある。9月上旬は特に大学、語学学校の新学期が始まるので学生ビザ審査と重なるのを覚悟した方がよい。また、バンクーバーとレスブリッジは1時間の時差があることも覚えておく必要がある。

<sup>12</sup> 待ち時間の問題に加え、バンクーバーやトロントと異なり、カルガリーでは、入国審査官が州内にあるレスブリッジ大学の名前を認知しているため、カルガリー空港での入国が、最も手続きが円滑に進むと思われる。

<sup>13</sup> 本人に対して、正規の航空運賃が支払われ、配偶者を帯同する場合にはその2分の1が支払われる。本人+配偶者の渡航費に、渡航に関わる諸経費(バス代やレスブリッジ大学への赴任するために必要となるホテル代)を加えた支給金額の上限は8,300ドルである。子どもの渡航費の支給はない。

<sup>14</sup> 支給される金額の詳細は、上野・赤石(2020)を参照されたい。

レスブリッジ大学滞在中の授業運営に支障がないのであれば、派遣期間中の他都市での国際学会の出席も可能である。ただ、この予定も必ず海外出張願に記載しておかなければならない。辞令に書かれている予定を遂行することにレスブリッジ大学から干渉はない。

#### 2.4.2 家族帯同の場合の準備

ビザについては、2.2で記載したので、それ以外の点をここで記す。

子供を帯同する場合には、子供が通学している日本の学校への欠席届が必要となる。

また、現地での通学を希望する場合、学校によって予防接種証明書(英文)が求められることがあるので、これを作成しておく。英文での予防接種証明書は、区保健センターに母子手帳を持参すれば、1通400円で作成してもらえる。証明書発行まで2週間ほどかかった。現地での通学先の手配などについてはインターナショナルセンターの担当職員に前もってメールで相談すると親身に対応してくれる。

#### 2.4.3 旅行傷害保険の準備

カナダにおける就労期間が4ヵ月の交換教員は、カナダ・アルバータ州の公的健康保険(Alberta Care)の対象外であり、通院の必要が生じた場合の費用の多くは実費負担となってしまう可能性が高い。そのため、不測の事態に備えて、海外における疾病/傷害に備え、旅行傷害保険に加入しておく必要がある。長期の旅行傷害保険への加入は、申込から保険証書の受領まで1週間程度はかかるので、早めに手続きをしておくといよい。

2018年の派遣においては、東京海上日動の海外旅行傷害保険のファミリープラン(北米5ヵ月)を利用し、その料金は本人86,130円、家族一人につき73,860円であった。補償内容は下記のとおりである。

- 1) 傷害志望：1,000万円
- 2) 傷害後遺障害：1,000万円
- 3) 治療・救援費用：3,000万円
- 4) 疾病志望：1,000万円
- 5) 航空機遅延：2万円
- 6) 賠償責任：1億円
- 7) 携行品損害：30万円
- 8) 航空機寄託手荷物：10万円

なお、クレジットカード付帯の旅行傷害保険は、出発から帰国までの期間が3ヵ月以内である場合に限り有効となるため、レスブリッジ滞在が4ヵ月となる交換プログラムには適さない

#### 2.4.4 その他

以下、項目のみを記す。

##### 1) 出張中の郵送物管理

学部事務により行われる。事前に依頼する。

##### 2) おみやげの用意

学期が始まって4週間が過ぎたころ、レスブリッジ大学長主催の歓迎レセプションがある。歴代の交換教授、通訳担当者、インターナショナルセンター所長、職員が集まる。その時にレスブリッジ大学長から記念品の贈呈があるので、その返礼としてお土産を持参する必要がある。各教員の裁量、負担による。事務部と相談するとよい。

##### 3) 学長に出発のあいさつ、レスブリッジ大学長に記念品

学長に出発の挨拶をする際に、学長に、レスブリッジ大学長宛の私信ならびに記念品を準備するかどうかを尋ねる。

##### 4) 出発時の空港からの連絡。

出迎えの問題があるので、旅程が決まったら必ずインターナショナルセンター担当職員に対する連絡を行い、到着時間を知らせる。出迎えの手配をしてくれる。

### 3. 現地での生活

#### 3.1 渡航・到着

バンクーバーでカルガリー行きに乗り換えロッキー山脈を越える。カルガリー時間はバンクーバー時間より1時間早くなっている。自分の時計の時間を1時間進め、乗り継ぎ時間に注意しなくてはならない。

カルガリーからレスブリッジまでは、安全な一列9人、計18人乗りのプロペラ飛行機に乗ることになる<sup>15</sup>。街はずれの空港には、インターナショナルセンター担当職員あるいは以前に札幌に来た交換教授の先生達が出迎えてくれる。したがって、レスブリッジ空港からの移動方法については考えなくてもよい。

#### 3.2 生活準備

##### 3.2.1 担当教員/職員との打ち合わせ

2018年度は、8月29日に宿舎となるアパートメントに入居できた<sup>16</sup>。到着の翌日にインターナショナルセンターにて、担当職員およびコーディネーター教員と教務事項を含むミーティング

<sup>15</sup> カルガリーからレスブリッジまで、都市間バスを利用することもできる。

<sup>16</sup> 北海学園大学からの学生の短期交換プログラム(8月実施)の実施年においては、引率教員がアパートメントの部屋を利用しているため、その後の入居となる。

を行う。9月中旬のレセプションの日程等が伝えられる。その他、研究室、e-mail address、自宅住所、電話番号、研究室電話番号、コピーカードをもらう。

この打合せのときに、下記の書類を提出することが求められる。

- 1) 海外旅行保険の証書のコピー
- 2) 渡航経費の領収書

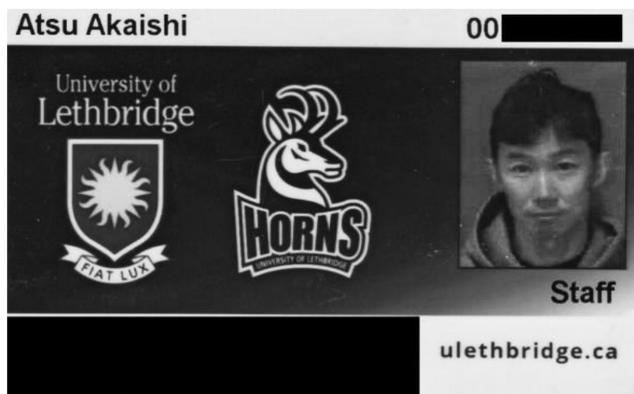
英文の航空券領収書、札幌から千歳空港までの旅費（バス、JR、タクシーなど）、ストップオーバーのホテル代などの経費支払いの可能性のある領収書はすべて到着から5日以内に提出しなければならない。後日、会計より小切手が支給されるので、銀行で自身の口座に入金する。

### 3.2.2 大学カードの作成

図表7に示すようなクレジットカード大のカードでStaffの文字と写真がついた大学IDカードが作成される。これ1枚で図書館での文献、ビデオの借り出し、スポーツ施設の利用等すべてできる。

ただし、これをもって大学外で公的証明書とすることはできない。

図表7 大学IDカード



### 3.2.3 銀行口座および社会保険番号の入手

インターナショナルセンターの担当職員の帯同の下、大学の近くの銀行でレスブリッジ大学からの手当の振込先となる銀行口座を開設する。パスポート、住所、電話番号、旅費支払いの小切手等を持参する。このとき、日本のマイナンバーの提示が必要となる（カードは不要、番号のみを通知）。

また、社会保険事務所に行き、社会保険番号を入手する（生涯にわたって有効）。これは、カナダで給与の支給を受ける場合に必要となるものである。

### 3.2.4 子供の就学準備—小学校

カナダ・アルバータ州では、9月時点で満6歳～満11歳の子供が小学校に通学する<sup>17</sup>。日本とは異なり、カナダでは9月からが新年度となる。

小学校への転入は、15th Streetにある教育委員会に就学予定の子どもと出向き、パスポートおよび就労ビザ、子どものビジタービザを提示し、転入に必要な手続きを行う。教育委員会への面会予約はインターナショナルセンターの担当職員が行ってくれ、またそこに帯同してくれる。その後、通学予定の小学校を訪れて、登録(Registration)を行う。

レスブリッジでは小・中学校に学区制はなく、大学のように学期開始前の週に通学したい学校で登録手続きをする。自宅より離れた学校に通う場合は毎朝市営の通学バスが迎えにきてくれる。特に希望がない場合は、アパートメントから最寄りのNicolas Sheran Community School(徒歩10分)となる。徒歩通学の場合は、親が学校まで送迎をすることが強く推奨される。

入学/新学年のスタート時には、スクールサプライと呼ばれる各種の文具を用意する必要がある。Registrationの際にスクールサプライのリストが渡されるか、Webサイトを見てリストを確認するように言われるので、リストに従い、文具店や1ドルショップで、これらの文具を用意する。始業時期は、文具店もスクールサプライに対応した体制をとっているため、あまり戸惑うことなく買い物ができる。それでも、リストの中には見慣れない単語も記載されているので、同世代の子供のいるレスブリッジ大学の教職員と一緒に文具店に行くといい。

教科書については、個人用のものはなく、小学校で授業のたびに貸し出される。アジェンダと呼ばれる連絡帳は各自購入する必要がある。

通学に用いるかばんは何でもよいが、ナップサックが一般的である。通学時の持参物は、弁当と水筒、スナック程度のものなので、軽量のものでよい。

### 3.2.5 子供の就学準備—未就学児

帯同している子供が9月時点で満5歳である場合には、幼稚園への入園が認められ、満5歳未満の場合にはプレスクール(週2日ないし4日の午前ないし午後3時間のみ預かり)ないしデイケアを探すことになる。プレスクールやデイケアは公的支援を受けていないので、これらの施設に入園する場合には、基本的に費用が発生する<sup>18</sup>。

プレスクールおよびデイケアは、インターネットで入園申込みなどをすることはできないので、現地に赴任してから担当職員を通じて空きを探すことになる。ただ、これらの施設の年度開始は赴任時期と同じ9月であるが、入園申込みは2月開始、人気のあるプレスクールは願書をもらうために早朝から並んだりするようで、現地に到着する8月末にはほとんどのプレスクールが募集

<sup>17</sup> 就労ビザ保有者の子供は、公立小学校に無料で通わせることができる。

<sup>18</sup> 移民受け入れプログラムが適用されて無償になることもあるが、確定的ではない。

を終了している。

そのため、赴任時点でプレスクールおよびデイケアの空きは見つからないことが多く（募集時期が2月でその時期の在住者のみが対象者となるため）、空きがあってもバスを乗り継いでいかなければならない場所にプレスクールが立地しているなどの問題がある。結果として、未就学児を帯同する場合には、四六時中、面倒を見なければならない可能性も高い。

プレスクールは午前か午後どちらかの3時間、週2～4回、自分たちの生活スタイルに合ったクラスを選ぶことになる。授業料は各園によって異なるが、週2回で120ドル、週4回で180ドルくらいである。スクールバスはなく、親が送り迎えしなくてはならない。

### 3.3 現地での生活

#### 3.3.1 気候と時差（服装、暖房）

9月末まで暑いので、夏服は必要である。初雪は10月上旬と幾分早いため、防寒着などの準備を早めしておく必要がある。20度ぐらいあった翌日に、突然に雪が降り、また20度ぐらいになることもある。その後、徐々に寒くなるが、十分暖房しているので室内は快適である。しかし冬はひどく乾燥する。

ただ、1年を通じて雪はそれほど積もらない。足首が隠れるくらい雪が積もっても、翌日はシノックというフェーン現象が起こす南風が吹いてすべて融かしてしまう。従って道路に雪が残っていることはない。雪が降る冬を3週間、シノックの後に春の雪解け3週間、再び冬、と短期間に冬と春先を繰り返して冬が終わる印象である。冬の間マイナス30度という凍てつく日もあるが長くて1週間くらい我慢すればシノックが吹き気温は徐々に上がる。

12月は外を歩く短時間だけ、 $-10^{\circ}\text{C}$ ～ $-20^{\circ}\text{C}$ の気温に対応するコートが必要である。風が強いので、現地の人々は、風を通さないものを着ている。

#### 3.3.2 住居

住居は、大学のアパートメントの1室が割り当てられる<sup>19</sup>。ここ数年は、Siksika Houseの#3である。1階部分が玄関で、階段を上がるとリビングとキッチンがある。3階部分に2つの寝室とバスルームがある。寝室は、1つにキングサイズのベッドが、もう1つにシングルベッドが2つ入っている。毛布、シーツ、タオル、石鹸、シャンプーなど、生活に必要なものはすべて揃っている。

宿舎にある備品は、電子レンジ、フルオープン、炊飯器、コーヒーメーカー、冷蔵庫、和洋食器、掃除機、テレビ等である。しかし、パソコンは設置されておらず、アパートメントで授業準

<sup>19</sup> 学生用のアパートメントでもあり、隣室には学生が住んでいる。

備や Web を閲覧したい場合には、パソコンを持参する必要がある<sup>20</sup>。なお、Wifi はフリーで接続できるもの (Guest@UofL) と大学の ID とパスワードで接続するもの (UofL) の 2 種類を、無料で利用することができる。

### 3.3.3 洗濯

洗濯は、アパートメントの建物内にある共同スペースがあり、そこにコインランドリーの洗濯機と乾燥機がある。使用料は、それぞれ 2 カナダドル (1 ドル硬貨のみ使用可) である。アパートメントの部屋は乾燥しがちなので、部屋干しでもすぐに乾く。

1 ドル硬貨の両替は、大学内のキオスクや Housing Office など、どこでも行ってもらえる。

### 3.3.4 バス

自動車は交換プログラムでは貸与されていないため、レスブリッジ市内の日々の移動は基本的にバスとなる。バスは大学が発着場所となっており (図表 8)、30 分間隔で発着する。出発時間も正確なので使い勝手が良い。街中のバス停には、図表 9 に示すような標識が立っている。

図表 8 大学のバス停



図表 9 バス停の標識



利用の方法は、乗車時に現金を 3.00 カナダドル支払うか<sup>21</sup>、図表 10 に示すような IC カード (Breeze card) をタッチする。IC カードを利用すると 1 回 2.25 カナダドルとなる。1 時間以内の乗継は無料である。IC カードは、学内キオスクで購入でき、10 回単位の金額をチャージする<sup>22</sup>。

<sup>20</sup> 2018 年 12 月末時点において、前任者が購入したインクジェットプリンターと 20 インチモニター、PC 用スピーカーが残されている。

<sup>21</sup> おつりは出ない。

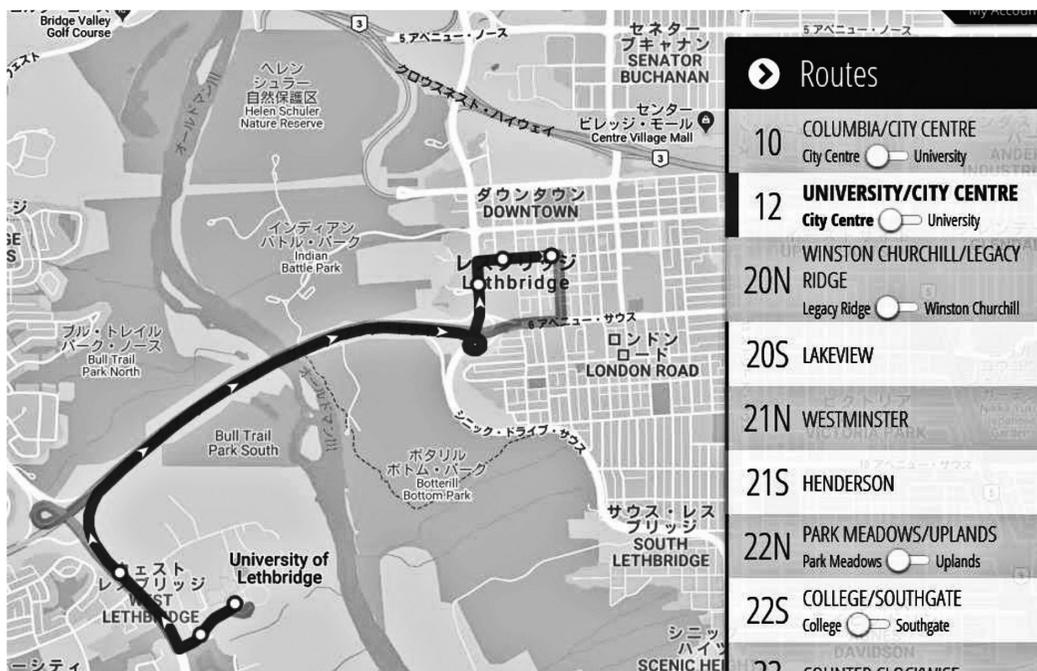
<sup>22</sup> チャージは、大学内のキオスク他、シティーホール、Shoppers (ドラッグストア) で行うことができる。日本と異なり、バスでチャージをすることができないので注意のこと。

図表 10 IC カード (Breeze card)



紙媒体でのバスマップ/時刻表は学内キヨスクでもらうことができるほか、Web サイト (Lethbridge Transit) でも閲覧できる。最も利用頻度が高いのは、ダウンタウン⇄レスブリッジ大学の 12 番である (図表 11)。次いで、スーパーマーケットのあるエリア⇄レスブリッジ大学の 33 番と 37 番を利用することが多い。ウエストサイドのバスは、どのバスも必ず大学を通るので、迷ってもバスに乗れば帰宅できる。

図表 11 12 番のバスルート (レスブリッジ大学⇄ダウンタウン)

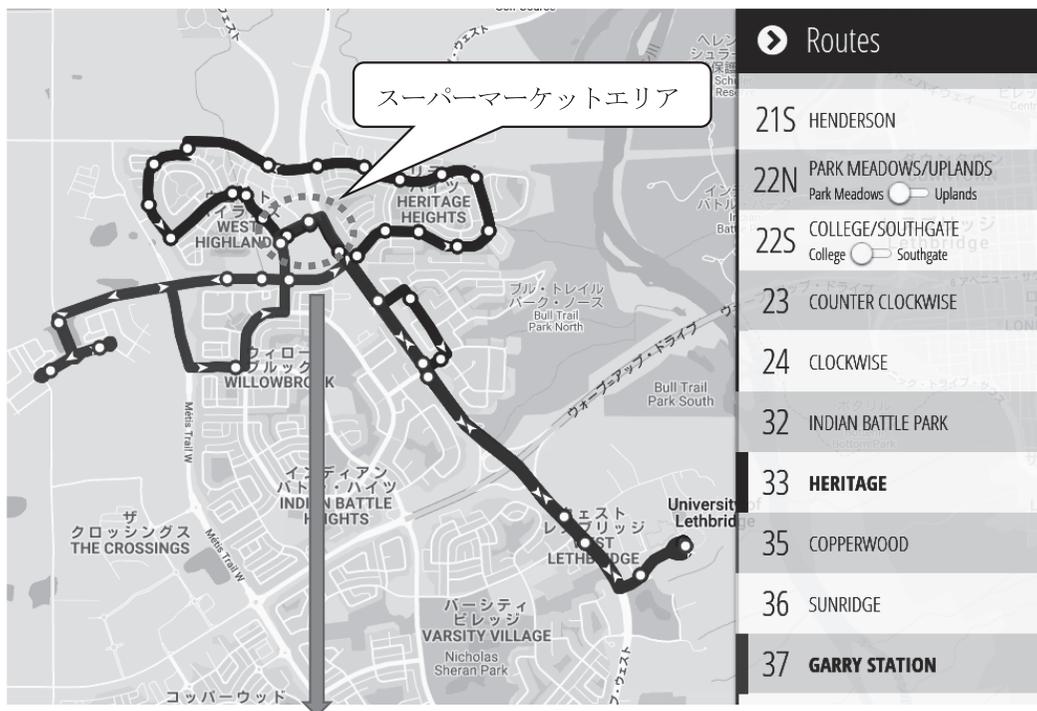


### 3.3.5 買い物

#### スーパーマーケット

地理的に利用可能なスーパーマーケットは、ウェストサイドにある Save on Foods か、

図表 12 33番と37番のバスルート (レスブリッジ大学⇄スーパーマーケットエリア)



Safeway となる。このエリアには、ホームセンターやワンダラーショップ、酒屋などもある。33 番あるいは 37 番のバスを利用する。図表 12 に主なバスルートが示されている。

雑貨や軽食、飲料のみの買い物であれば、徒歩 10 分の Shoppers (ドラッグストア：後述) を利用する。

足を延ばせば、サウスサイドの Costco や Walmart に行くこともできる。バスで行く場合は、12 番でダウンタウンに行った後に、23 番のバスに乗り継ぐのが便利である<sup>23</sup>。

### ファーマーズマーケット

10 月までは、郊外で、ファーマーズマーケットが開催される (毎週土曜日)。ここでは、新鮮な野菜や果物などを、スーパーより安価で購入することができる。近郊の日系農家も日本系野菜を販売している (図表 13)。

ただ、バスを乗り継いでいく必要があるため、基本的には、レスブリッジ大学の教職員の買い物に便乗する形となる。

図表 13 ファーマーズマーケット



### Park Place Mall

ダウンタウンのバスの停留所から徒歩 5 分の距離に、比較的大きなショッピングモール：Park Place Mall がある。スポーツショップや文房具店、服飾店、映画館、家具店が軒を連ねている。日本の感覚でいうと、イオンのようなものである。ここで、レスブリッジの生活に必要なものは、冬服や学校生活に必要なものを含め、おおむね揃う。

### 日本食材店

ダウンタウンには、創業 40 年のナカガマ商店があり、味噌、醤油、納豆、すし酢、カレー粉、

<sup>23</sup> 復路は 24 番のバスを利用する。ただ、23 番と 24 番のバスは、月-金の 18 時までの運行である点に留意する必要がある。また、Costco の利用には会員証が必要であり、買い物をした場合には荷物も多くなる。そのため、Costco に行きたい場合には、Costco の会員証を持つレスブリッジ大学の教職員の買い物に便乗する。

うどん、米、自家製豆腐、油揚げ、いくら、刺し身のネタ、ポッキー、お多福ソース等なんでもそろっている。表示が英語でなければカナダにいることを忘れる。送料を考えると、日本から送るよりこちらで調達した方がよい。昔ながらの製法で作る豆腐と油揚げはおいしい。

シティーホールの近くには、UMAMI というおしゃれな多国籍食材店ができた。日本を含めアジアやヨーロッパの調味料などが手に入る。手作りのパンやスイーツなども販売されており、店内には小さいカフェスペースもある。カナダブランドの調味料なども売られているので、ここで日本へのお土産を探すこともできる。

### 3.3.6 食材

レスブリッジは、内陸部にあるため、スーパーマーケットで新鮮な魚介類を買うことはできない。辛うじて、冷凍のサーモンやタラが購入できるのみである。

その一方で、肉類は安価である。特に、カナダのブランド牛であるアルバータ牛を安価で買うことができる<sup>24</sup>。野菜、果物もそれなりに豊富である。米も、日本産に比較的近い味のもの（国産）が販売されている。大根、ごぼう、白菜、サツマイモ、もやし等の日本食に使用する野菜もスーパーで買えることがある。

### 3.3.7 Amazon

Amazon.ca を使うことができる。ただし、カナダは郵便事情が必ずしも良くないので、到着までの所要期間が明確ではない点に留意する必要がある。早くて1週間、ストライキなどがあると2週間かかることもある。一部の品物については、日本の Amazon.jp で注文し、その海外発送（海外送料+通関費用が必要）を使うこともできる。こちらは、発注から1週間程度で届く。

Amazon を通じた消耗品の購入は、所定の手続きを経て、消耗品予算で充当することができる。ただし、送料は予算外となる（自費負担）。

商品の送付先は、本人名とし、住所はインターナショナルセンターとする<sup>25</sup>。小型のものであれば所定のメールボックスに投函され、大型のものであれば、インターナショナルセンターの担当職員からメールにて、荷物が届いている旨の連絡が入る。

<sup>24</sup> ただし、厚みのある形で販売されており、日本のように薄切りの肉は販売されていない。

<sup>25</sup> 例えば、下記のような形となる。

Atsunori Akaishi

U of L International Centre,

4401 University Drive, Lethbridge, Alberta, Canada T1K 3M4

### 3.3.8 飲食店

#### ファーストフード

大学構内や Park Place Mall 内,あるいは主だったスーパーマーケットに隣接して,ファーストフード店が立地する。A&G は地元で親しまれているチェーン店で,バーガーのほかにキンキンに冷やしたジョキででてくるルートビアが有名。オニオンリングもおいしい。

#### 日本食レストラン

ダウンタウンには, Lighthouse Japanese Restaurant, KOKO Japanese Restaurant, O-Sho Japanese Restaurant などがある。O-sho は 20 年以上前からありファミレス風に日本食を提供しているが, オーナーは中国人だと聞いている。他の 2 店は日本人経営と聞いている。Lighthouse (図表 14) は寿司, 刺身, てんぷら, ステーキなどを提供し料理の出来も許容範囲である。冷凍技術が向上しているせい意外と味はよい。KOKO はカジュアルな日本料理を提供している。寿司, てんぷらの他にうどんなど麺類がおいしい。きんぴらごぼうなどおふくろの味的メニューがある。

図表 14 Lighthouse のメニュー

 <p><b>LIGHTHOUSE</b> AKARI SUSHI JAPANESE RESTAURANT</p> <p><i>sushi &amp; sashimi</i></p> <hr/> <p><i>SUSHI &amp; SASHIMI</i></p> <p><b>sushi pizza</b>   chopped tuna and salmon on deep fried rice with spicy sauce mayo and tabiko</p> <p><b>tuna &amp; salmon sushi or sashimi</b>   8 pieces of tuna &amp; salmon nigiri sushi or sashimi</p> <p><b>all salmon sushi or sashimi</b>   8 pieces of salmon nigiri sushi or sashimi</p> <p><b>sashimi dinner</b>   10 pieces of assorted sashimi with rice</p> <p><b>sushi &amp; sashimi</b>   6 assorted sashimi, 3 pieces of nigiri, a California roll and a spicy cone</p> <p><b>love boat</b>   16 pieces of assorted sashimi &amp; 6 nigiri and 3 rolls</p> <p><b>sushi &amp; sashimi dinner for 3</b>   25 pieces of assorted sashimi, 6 nigiri and 4 rolls</p> <p><b>ume assorted sushi</b>   4 pieces of assorted nigiri with a California roll</p> <p><b>take assorted sushi</b>   6 pieces of assorted nigiri with a California roll</p> <p><b>matsu assorted sushi</b>   8 pieces of assorted nigiri with a California roll</p>	<p><b>NIGIRI SUSHI / SASHIMI</b></p> <p>inari   fried bean curd</p> <p>shitake   Japanese mushroom</p> <p>spicy tempura   tempura with a spicy sauce</p> <p>tamago   sweetened omelette</p> <p>ebi   steamed prawn</p> <p>tuna   raw tuna</p> <p>saba   mackerel</p> <p>salmon   raw salmon</p> <p>hotategai   scallop</p> <p>smoked salmon   smoked salmon</p> <p>tobiko (red)   flying fish roe</p> <p>tai   snapper</p> <p>special scallop   creamy scallop with masago</p> <p>special shrimp   creamy shrimp with masago</p> <p>tako   steamed octopus</p> <p>ikura   salmon roe</p> <p>ahi tuna   red tuna</p> <p>unagi   barbecued eel</p> <p>toro   belly of tuna</p>
--	--

### 3.3.9 娯楽

#### 大学スポーツ

秋 semester には、レスブリッジ大学構内のアリーナでバスケットボールの試合が、また近くの Nicolas Sheran Leisure Centre ではアイスホッケーの試合が開催される。入場料は大人 10 ドル程度である。

#### アイスホッケー

カナダではアイスホッケーが最も人気のあるスポーツである。レスブリッジが位置するアルバータ州には、NHL 所属チームとして Calgary Flames と Edmonton Oilers がある。レギュラーシーズンは 10-4 月であるため、カルガリー、エドモントンに足を延ばせば、NHL のアイスホッケーの観戦ができる。チケットは、Ticketmaster や StubHub の Web サイトを通じて購入する。

また、レスブリッジにも、Lethbridge Hurricanes というチームがあり、NHL の下部リーグに相当する CHL に所属する。ホームアリーナは Enmax Centre でサウスサイドにある (図表 15)。チケットは、Web サイトで購入するか、当日窓口で買えばよい。Enmax Centre には、バスを乗

図表 15 アイスホッケー



り継いで行くことになるが、土日や夜間はバスの本数が少なく、終バスも早いため、バスの時刻には注意したい。

### 3.3.10 公共図書館

ダウンタウンとウエストサイドに公共図書館 (public library) がある。

ダウンタウンの図書館では、1階に一般向けの図書、DVD等が置いてあり、地下が子供向けのスペースとなっている。本やDVDを借りたりコンピューターを利用したりするには図書カードを作成しなくてはならない。作成料は一般15ドル、17歳以下無料(2018年)であった。本やDVDは貸し出し冊数に制限はないが、返却期限を守らないと罰金を課される。

地下のキッズスペースでは、ほぼ毎日午前中に幼児向けの絵本読み聞かせや、歌や踊りをする無料のプログラムが開催されている。

数年前にウエストサイドに新しい図書館がオープンした。大学からは35番のバスに乗れば10分ほどで図書館の前まで行くことができる。ウエストサイドの図書館はダウンタウンのそれよりは小さいが、日本のアニメのDVDが充実しており、ボードゲームがたくさん置いてある。図書館から徒歩5分くらいの場所にスーパーやレストランが立ち並ぶエリアもあるので、週末に家族で行っても楽しめるかもしれない。

### 3.3.11 電話

プリペイドのSimカードを購入するか、現地のキャリアと短期的な契約を結ぶことによって、携帯電話(スマートフォン)を利用することが可能となる<sup>26</sup>。日本のAmazon.jpで、カナダ用のSimカード(プリペイド型ないしチャージ型)を購入することもできるので、準備していてもよい。

ただ、大学構内、宿舎、市内のパブリックスペースでは、フリーのWifiが利用できるため、携帯電話を保有する必要性は特になかった。

### 3.3.12 薬局/病院

カナダの人々は、時間待ちなどの問題があるため、あまり病院を利用せず、薬局を利用する。薬局には、薬剤師が常駐しており、症状を相談しながら、必要な薬剤を購入する。大学近くのShoppersが薬局・ドラッグストアとなる。

もちろん、診療所や病院も利用でき、レスブリッジの中心部には、救急病院も兼ねる総合病院がある。大学構内のインターナショナルセンターの横にヘルスケアセンター(Health Centre)があり、軽度の症状の場合はここで診てもらえる。

---

<sup>26</sup> Park place mallに、携帯キャリアの店舗がある。

### 3.3.13 タクシー

Uberは、レスブリッジ市内に4台程度しか走ってなく、利用しがたい。

日本のように、タクシーが流していることもないので、タクシー利用の必要性がある場合には、タクシー会社に電話をして呼ぶ必要がある。

日常の買い物は、レスブリッジ大学の教員が必要に応じ車を出してくれる。お互い様なので遠慮なく頼むとよい。夕食やパーティーに招かれた時は都合のつく教員や職員がピックアップしてくれる。

### 3.3.14 レンタカー

レスブリッジには、いくつかのレンタカー会社が存在する。価格面、サービス面から、レスブリッジ大学の教職員が推奨するのは、Enterprise社である。

カーレンタルは、1日単位で行い、オートマチック車が用意される。レンタカー費用は、Compact carないしEconomy carで、1日あたり24ドルから30ドルである。しかし、CDWと呼ばれる車両保険が1日25ドル程度かかる。予約はWebサイトを通じて行うことができる。

タイヤは、オールシーズンタイヤ<sup>27</sup>が装着されており、冬季においてもスタッドレスタイヤが装着されているわけではないことに留意が必要である。

なお、カナダは右側通行で、右折は小回り、左折は大回りとなる(日本と逆)。また、赤信号でも車が来ていなければ、一時停止の後、右折することができる。信号のない交差点では一番最初に交差点に入った車から優先して進行できる<sup>28</sup>。

## 3.4 子供の就学

### 3.4.1 プレスクール

2018年度は、大学から徒歩20分ほどの場所にあるSt Martha Elementary School<sup>29</sup>に付属している午後のプレスクールに入園した(週4回午後のみ)。

そのスケジュールであるが、12時30～45分の間に登園して、お絵かきや簡単な工作などの制作、お歌の後、体育館でボール遊びや鬼ごっこなどを行う。合間に、スナックタイムがあり、家から持ってきたおやつや果物、パンなどを食べる。スナックタイム後は上着を着て外の公園で遊び、その後、教室で各自絵本などを読んで親のお迎えを待つ。ほぼ毎日同じ時間割で活動しているようである。

<sup>27</sup> オールシーズンタイヤは、雪道を走行することができるが、凍結路面では滑るので、注意する必要がある。ただ、カナダの道路は、除雪され、凍結防止剤がまかれるので、降雪時以外は、オールシーズンタイヤでも走行可能である。雪山などに行く場合には、スタッドレスタイヤ着用のレンタカーをレンタルする必要がある。

<sup>28</sup> ガソリンスタンドでの給油は、セルフサービスである。

<sup>29</sup> Nicolas Sheran Community School から歩10分程度の位置にある。

月に1日程度の割合で、PD day (自習日)がある。参観日などはないが、クリスマスコンサートで子供たちが練習してきた歌を聴く機会があった。

### 3.4.2 小学校

大学から歩いて10分のところに Nicolas Sheran Community School がある (図表 16)。朝は、8時25分のチャイムで玄関が解錠される。その前に学校に着いても学校には入れないので、生徒たちは校庭で遊んで待っている。8時35分にカナダ国歌とその日のインフォメーションが放送され、全校生徒はクラスに掲げられているカナダ国旗を見ながら国歌を歌う。

毎日、スナックと弁当持参する。スナック・弁当については、何でもよいが、食べるための時間も短いので、手軽に食べられるものがよい。なお、ピーナッツアレルギーの子供が多いため、ナッツ類の持込やピーナッツバターの利用は禁じられている。クラスメイトにアレルギー保有者がいる場合には、別途、持参禁止のものについての案内が配布される。

また、学校行事などで学校の同級生など不特定多数にお菓子などを配布する必要がある場合には、ハンドメイドのものではなく、原材料が分かる既製品を配布する。これは、各子どもによって、アレルギーや宗教上の問題から口にできるかどうか異なるためである。

下校は15時30分である。下校時間にあわせて、親は玄関で待つ。

図表 16 Nicolas Sheran Community School 写真



## 3.5 滞在中のイベント

### 3.5.1 学内行事

#### 歓迎レセプション

レスブリッジでの生活に慣れたころ、歓迎レセプションが開催される (図表 17)。学長、インターナショナルセンター所長や職員、歴代の交換教授、これから赴任予定の交換教授などが参加

する。この席で本学学長から預かってきたお土産、レ大学長からのプレゼントなどの交換がある。毎週の買い物補佐、行きたいところはないか、など今後の生活でのサポートについていろいろな人から申し出がある。遠慮なく頼む良い機会である。同じ時期に滞在している本学人文学部の派遣学生の引率教員も招かれる。

図表 17 2017年度歓迎レセプション：アイトル先生（人文学部）、  
メーハン学長



### 卒業式 (Convocation)

10月初旬に秋の卒業式が行われる（図表 18）。卒業生はガウンを羽織り、タッセルが付いた学帽をつけ University Hall に集合する。その後大学の Mace（矛（ほこ）状の権標：大学総長などの職権の表象）を先頭に図書館横の道を、行列を作ってゆっくりと上って行く。卒業式会場の体育館では檀上の学長、教授陣とアリーナ周囲の観客席に着席した家族が待っている。卒業生は一人一人名前を呼ばれ学位記を受け取る。2017年度のレスブリッジ大学卒業式は芸術学部教授ディアナ・オオエ教授（2015年度交換教授）のピアノ演奏が入り厳かにも暖かい雰囲気の中で挙行された。

図表 18 Convocation procession



(University of Lethbridge ホームページより)

### 教員 FD 研修会 (Teaching Centre Events)

毎月1回月末に本学のFD研修会にあたる Teaching Centre Events や Shop Talk が開催される。前者は金曜の午後2時間くらいの開催でワイン、ビール(2ドル)、オードブル(無料)付きである。学内の教授連が授業方法、授業改善について様々なトピックで発表し意見交換する。Shop Talk は月2回開催され、主に Teaching Centre がIT 関連の新情報を提供し、新しい教育アプリの利用方法をワークショップ的に行っていた。

Teaching Centre は図書館の最上階にあり、教育に関する情報提供、授業補佐を行う部署である。本学の学士課の業務をもっと専門化した部署であると思った。

### 3.5.2 サンクスギビング (Thanksgiving Day)

10月第2週にある。授業も休みになる。この期間は日本のお盆のように家族が集う機会になっている。カナダでは、クリスマスと同等、あるいはそれ以上のイベントとして認識され、各家庭では七面鳥(turkey)を料理する(図表19)。

カナダ文化体験として、交換教員もパーティーに招かれることが多い。レスブリッジ大学の教授の別荘や近郊の行楽地で過ごすこともある。

図表 19 サンクスギビングでの七面鳥の仕込み



### 3.5.3 ハロウィン (Halloween)

10月31日がハロウィンである(図表20)。この週は学内、市内いたるところでハロウィンの飾りつけ、仮装がみられる。子供たちは Jack-o'-Lantern を作りその日に備える。当日夜は Trick or

Treat で近所を回る。大学でも職員は仮装して業務にあたる。熱意のある教員や学生は仮装して授業に出席する (図表 21)。

図表 20 ハロウィンでの Jack-o'-Lantern 作り, Trick or Treating



図表 21 ハロウィン学内風景



### 3.5.4 クリスマス

クリスマスは最大のイベントである。市内、学内は一ヵ月も前から盛り上がる。クリスマスの飾りつけ、クリスマスツリーなど北米の習慣、伝統を観察する良い機会となる。

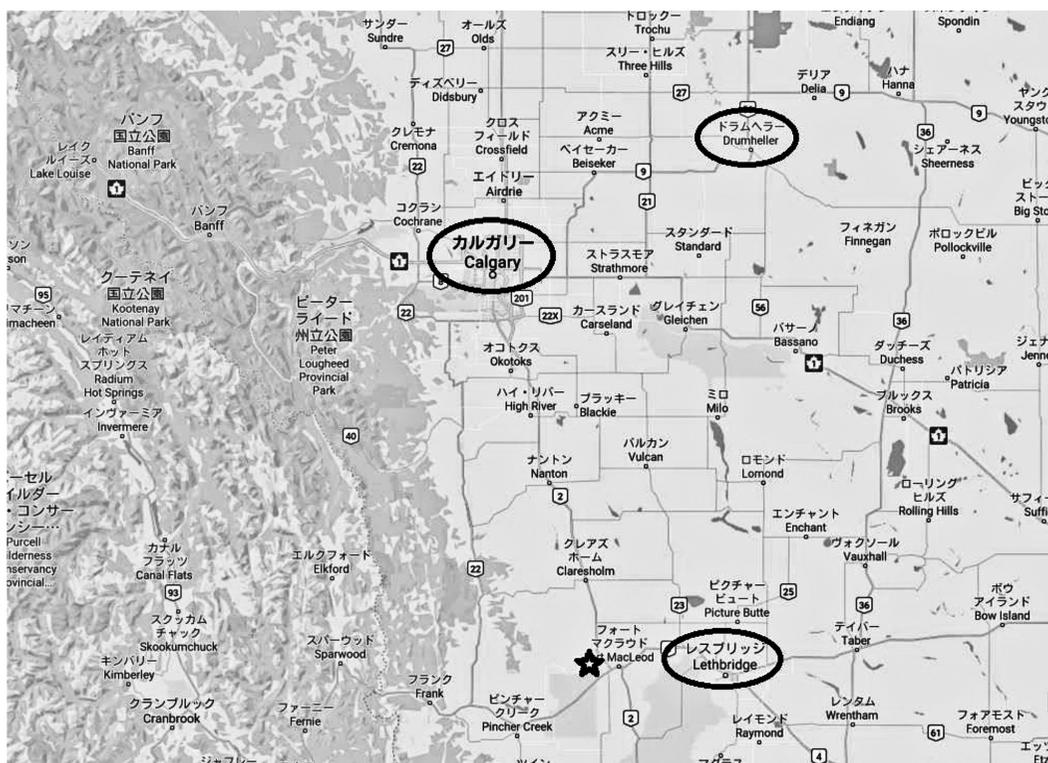
ダウンタウンの Casa や学内で、コンサート、展示、クリスマス用品販売など様々な催しがある。帰国準備で忙しくなるが各家のクリスマスライトアップ、日加友好ガーデンのライトアップは一見の価値がある。夜寒いが帰国前に出かけるべきである。

### 3.6 周辺の見どころ

ここでは、週末などを利用して訪れることのできる周辺の見どころを紹介する。

ここでは、①ヘッド・スマッシュド・イン・バッファロー・ジャンプ、②カルガリー、③ドラムヘラーについて、簡単に紹介したい。それぞれの位置は図表 22 で確認されたい。

図表 22 レスブリッジ近郊



#### 3.6.1 ヘッド・スマッシュド・イン・バッファロー・ジャンプ—図表中の☆印

レスブリッジから車で 30 分ほどのフォートマクラウド近郊に、平原インディアンのバッファローの狩場であったヘッド・スマッシュド・イン・バッファロー・ジャンプ (Head-Smashed-in

Buffalo Jump World Heritage Site) があり、世界遺産にも登録されている。同地には、インタープリティブ・センターが併設され、かつての狩りの様子が再現されている。

### 3.6.2 カルガリー

レスブリッジから車で2時間、都市間バスで3時間程度。市内には、C-トレインと呼ばれる ترامが走っている。

市内中心部には、カルガリー・タワー、グレンボウ博物館があり、C-トレインを使って、カルガリー動物園やカナダ・オリンピック公園に行くこともできる(図表23)。カルガリー動物園は、パンダもいる大規模施設である(図表24)。

また、カルガリーには、NHLに所属するカルガリー・フレイムス(アイスホッケー:NHL)や

図表23 カルガリー



図表24 カルガリー動物園



カルガリー・スタンピーターズ (カナディアン・フットボール:CFL) が所在し、これらのチームの試合を観戦することもできる。

### 3.6.3 ドラムヘラー

カルガリーから車で1時間半, レスブリッジから車で4時間の距離に, バッドランドと呼ばれる地域の中心地ドラムヘラーがある。化石の生成に絶好の気候条件が整っているこの地では, 恐竜や古代生物の化石の発掘作業が行われている。

おもな見どころは, 各種恐竜の骨格標本が展示されているロイヤル・ティレル古生物博物館 (図表 25) や巨大なキノコの状の形をした砂岩の柱フードゥである (図表 26)。

図表 25 ロイヤル・ティレル古生物博物館



図表 26 フードゥ



## 4. 帰国に向けて

### 4.1 フェアウェルランチ

講義終了後、帰国までの間に、フェアウェルランチが設定される。インターナショナルセンターの担当職員との相談の中で、場所と招待者を決定する。なお、このランチの費用は、レスブリッジ大学の負担となる。

### 4.2 荷物の発送

日本への荷物の発送を行う場合、Canada Post を利用する。移送手段として、航空便か船便(Surface)を選ぶことができる。船便の場合、21 kg の荷物で \$ 241 ドル、到着までに 30 日を要した。航空便を利用すると、10-14 日で到着するようだが、概ね倍額の費用が掛かる。

発送には、Shoppers にある郵便窓口を利用することもできる。大きな荷物はダウンタウンの本局が便利であろう。あらかじめ Canada Post の web サイトで、送り状等を作成しておくことで窓口での手続きの手間が省ける。

### 4.3 部屋の明け渡し

帰国当日は、空港までインターナショナルセンターの担当職員が送ってくれるので、その際に、宿舎と研究室の鍵を引き渡す。部屋を出るにあたっては、冷蔵庫を空にする必要があるが、ベッドメイキングや掃除を行う必要はない。入居者が撤収後、掃除の係が清掃に入り、次の入居者のための準備をする。

### 4.4 レスブリッジ空港

レスブリッジは、風が強く、しばしば離発着が遅れることが多い。特に冬は北海道と同じで風雪のために飛行機はよく遅れる。そのため、カルガリー以降の行程を組むにあたっては、注意しておく必要がある。レスブリッジーカルガリーの飛行機は Air Canada に連動しているので、レスブリッジ発の飛行機に遅延が出た場合は、カルガリー以降もたいてい遅延している。そのため、カルガリー空港まで都市間バス(大学のバスターミナル発)を使ってもよいかもしれない。

事前に Web チェックインをしておくことで空港カウンターでの手続きが簡単になる。Web チェックインではスーツケースのチェックインもできるので便利である。2017 年度は、スーツケースはひとり 32 kg×2 個までが無料であったが、今はどうなっているか再度確認が必要である。

## 5. おわりに

2017年度, 2018年度の経験を「現状と課題」「講義」「準備&現地生活」の3篇にまとめた。今思えば, 苦労はあったが貴重な体験をさせて頂いた。我々の派遣にご尽力頂いた関係の方々に深く感謝している。コロナ禍のため2020年度の交換教授派遣事業は全面的に中止となった。40年続くこの交換教授派遣事業は災害, 感染, 世界情勢に常に影響を受けてきたが, その都度関係部署や事業に係る人々の尽力により絶え間なく続いてきた。これからもこの事業が存続しこの資料がお役に立つことを筆者2名は祈念している。

## 参考文献

- [1] 上野之江・赤石篤紀 (2020a) 「北海学園—レスブリッジ大学教員交換プログラム V2(1)～現状と課題～」, 『北海学園大学学園論集』第181号, 123-165頁。
- [2] 上野之江・赤石篤紀 (2020b) 「北海学園—レスブリッジ大学教員交換プログラム V2(2)～講義～」, 『北海学園大学学園論集』第182号, 67-106頁。
- [3] レスブリッジ大学ホームページ  
[https://www.uleth.ca/unews/article/university-achieves-highest-ever-second-place-position-maclean%E2%80%99s-university-rankings#.X3\\_p8Wj7Tcs](https://www.uleth.ca/unews/article/university-achieves-highest-ever-second-place-position-maclean%E2%80%99s-university-rankings#.X3_p8Wj7Tcs)

1. Application for Work Permit made outside of Canada (IMM1295)

PAGE 2 OF 6  
Date of Birth

Applicant Name  
AKASHI, A.

**PERSONAL DETAILS (CONTINUED)**

1) Have you previously been married or in a common-law relationship?  No  Yes  
 Family name (Given name(s))

2) Type of relationship: MM DD From To  
 YYYY-MM-DD YYYY-MM-DD

3) Native language(s): English

4) Are you able to communicate in English and/or French?  No  Yes

**LANGUAGES**

1) Native language(s): English

2) Have you taken a test from a designated testing agency to assess your proficiency in English or French?  No  Yes

**PASSPORT**

1) Passport number: JPN (Japan) 2) Country of issue: JPN (Japan) 3) Issue date: 2014-03-03 4) Expiry date: 2020-03-03

**CONTACT INFORMATION**

1) Current mailing address: Hokkaido, Sapporo, Hokkaido

2) Residential address (same as mailing address):  No  Yes

3) Telephone no.: 4) Alternate telephone no.: 5) Email address: akashi.ahiguu.jp

**DETAILS OF INTENDED WORK IN CANADA**

1) What type of work permit are you applying for? (Example: Labour Market Impact Assessment)

2) Details of any prospective employer (attach original offer of employment): University of Lethbridge

3) Complete address of Employer (Canadian or foreign): 4401 University Drive, Lethbridge, Alberta T1K 3M4, Canada

PAGE 3 OF 6  
Date of Birth  
1974-06-05

Applicant Name  
AKASHI, A.

**DETAILS OF INTENDED WORK IN CANADA (CONTINUED)**

1) Proposed employer (in Canada): 2) Address: 4401 University Drive, Lethbridge, Alberta T1K 3M4

3) My occupation in Canada will be: 4) My occupation in Canada will be: 5) Duration of expected employment: 2018-09-05 to 2018-12-17

**EDUCATION**

1) Have you had any post secondary education (including university, college or apprenticeship training)?  No  Yes

From (YYYY)	To (YYYY)	Field and level of study	School/Faculty name	Country	Province/State
1998	04	Business Administration, MA	Kobe University of Commerce	Japan	
2000	03			Japan	

**EMPLOYMENT**

1) Have you held any government positions (such as civil servant, judge, police officer, mayor, member of parliament, hospital administrator)?

From (YYYY)	To (YYYY)	Current Activity/Occupation	Company/Employer/Faculty name	Country	Province/State
2014	04	Professor, Faculty of Business Administration	Hokkai-Dokuen University	Japan	
2007	04	Associate Professor, Faculty of Business Administration	Hokkai-Dokuen University	Japan	
2014	03	Lecturer, Faculty of Business Administration	Hokkai-Dokuen University	Japan	
2003	04	Lecturer, Faculty of Business Administration	Hokkai-Dokuen University	Japan	

**BACKGROUND INFORMATION**

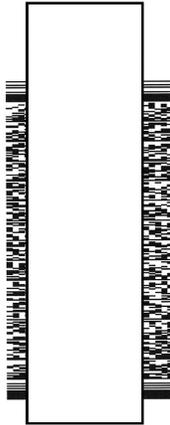
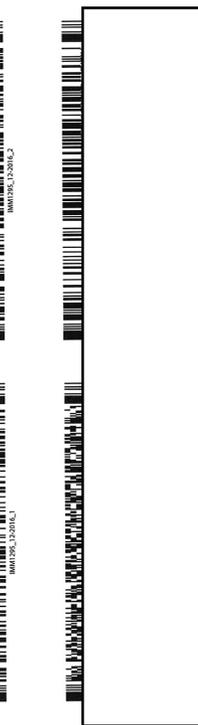
1) Do you have any physical or mental disorder that would require social and/or health services, other than medication, during a stay in Canada?  No  Yes

2) Within the past two years, have you or a family member ever had tuberculosis of the lungs or been in close contact with a person with tuberculosis?  No  Yes



PAGE 6 OF 6  
 Applicant Name  
 AMASHA  
 Date of Birth  
 1974-05-05

APPLICATION FOR WORK PERMIT  
 MADE OUTSIDE OF CANADA



IMM 256 (05-2016)  
 APPLICATION FOR WORK PERMIT MADE OUTSIDE OF CANADA  
 IMM256.122016.3  
 IMM256.122016.3

2. Family information (IMM5707)

Immigration, Refugees and Citizenship Canada  
 Immigration, Réfugiés et Citoyenneté Canada  
 PROTECTED WHEN COMPLETED - B  
 PAGE 1 OF 2

FAMILY INFORMATION

Complete ALL names in English and in your native language (for example, Arabic, Cyrillic, Chinese, Chinese commercial/telegraphic code, Korean, or Japanese characters). Include ALL family members even if they are not accompanying you. If additional space is required, print and attach an additional form.

TYPE OR PRINT IN BLACK INK.

SECTION A		Relationship SEE NOTE 1	Date of birth (YYYY-MM-DD)	Present address (if deceased, give city/town, county and date)	Will accompany you to Canada? YES NO
Name	Date of birth (YYYY-MM-DD)				
Applicant: AMASHA Married status: Married-physically present	1974-05-05	APPLICANT	Japan		
Married status: Married-physically present		SPOUSE OR COMMON-LAW PARTNER	Japan		<input checked="" type="checkbox"/>
Married status: Married		MOTHER	Japan		<input type="checkbox"/>
Married status: Married		FATHER	Japan		<input checked="" type="checkbox"/>
Married status: Married		PARENT	Japan		<input type="checkbox"/>

NOTE 1: If no spouse or common-law partner is listed in Section A, read and sign below.  
 I certify that I do not have a spouse or a common-law partner.  
 Signature: \_\_\_\_\_ Date (YYYY-MM-DD) \_\_\_\_\_

SECTION B - CHILDREN (Include ALL sons and daughters, including ALL adopted and step-children, regardless of age or place of residence)		Relationship SEE NOTE 2	Date of birth (YYYY-MM-DD)	Present address (if deceased, give city/town, county and date)	Will accompany you to Canada? YES NO
Name	Date of birth (YYYY-MM-DD)				
Married status: Single		Son	Japan		<input checked="" type="checkbox"/>
Married status: Single		Son	Japan		<input checked="" type="checkbox"/>
Married status: Single			Japan		<input type="checkbox"/>
Married status: Single			Japan		<input type="checkbox"/>

NOTE 2: If no children are listed in Section B, read and sign below.  
 I certify that I do not have any natural, adopted nor step-children.  
 Signature: \_\_\_\_\_ Date (YYYY-MM-DD) \_\_\_\_\_

IMM 5707 (05-2016) E  
 (AUSSI DISPONIBLE EN FRANÇAIS - IMM 5707 F)  
 ALSO AVAILABLE ON OUR WEB SITE AT: <http://www.cic.gc.ca>  
 Canada

3. 北海学園大学証明の英文書類  
在職履歴証明書



HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY  
Asahi-machi 4-1-40, Toyohira-ku  
Sapporo, Hokkaido, 062-8605 JAPAN  
Tel: +81-11-841-1161 / Fax: +81-11-824-3141

北海学園大学  
〒062-8605 札幌市豊平区福町4丁目番地40号  
Tel: +81-11-841-1161 (代表)  
Fax: +81-11-824-3141

March 1<sup>st</sup>, 2018

**Employment Records**

Name: Atsunori Akaishi  
Date of Birth: June 5, 1974  
Professor, Faculty of Business Administration  
Hokkai-Gakuen University

April, 2014-present	Professor, Hokkai-Gakuen University, Faculty of Business Administration.
April, 2007-March 2014	Associate Professor, Hokkai-Gakuen University, Faculty of Business Administration.
April 2003-March 2007	Lecturer, Hokkai-Gakuen University, Faculty of Business Administration.

This is to certify the above-named person has been our faculty member since April 1<sup>st</sup>, 2003 and his annual income is approximately [REDACTED] JPY.

OFFICIAL SEAL



*Toshimasa Yasukata*  
Toshimasa Yasukata, Ph.D., Litt. D.  
President  
Hokkai-Gakuen University

Asahimachi-4-1-40, Toyohira-ku  
Sapporo, Hokkaido, JAPAN 062-8605  
TEL: +81-11-841-1161  
FAX: +81-11-824-3141  
E-mail: norihiro@hgu.jp

4. 雇用証明書



HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY  
Asahi-machi 4-1-40, Toyohira-ku  
Sapporo, Hokkaido, 062-8605 JAPAN  
Tel: +81-11-841-1161 / Fax: +81-11-824-3141

北海学園大学  
〒062-8605 札幌市豊平区福町4丁目番地40号  
Tel: +81-11-841-1161 (代表)  
Fax: +81-11-824-3141

March 1<sup>st</sup>, 2018

**Certificate of Employment**

Name: Atsunori Akaishi  
Date of Birth: June 5, 1974

I hereby certify that the above-named person is a full-time professor, the Faculty of Business Administration at Hokkai-Gakuen University. He has been our faculty member since April 1<sup>st</sup>, 2003, and his annual income is approximately [REDACTED] JPY.

Sincerely yours,

OFFICIAL SEAL



*Toshimasa Yasukata*  
Toshimasa Yasukata, Ph.D., Litt. D.  
President  
Hokkai-Gakuen University

Asahimachi-4-1-40, Toyohira-ku  
Sapporo, Hokkaido, JAPAN 062-8605  
TEL: +81-11-841-1161  
FAX: +81-11-824-3141  
E-mail: norihiro@hgu.jp



HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY  
Asahi-machi 4-1-40, Toyohira-ku  
Sapporo, Hokkaido, 062-8605 JAPAN  
Tel: +81-11-841-1161 / Fax: +81-11-824-3141

北海道学園大学  
〒062-8605 札幌市豊平区豊平4丁目番40号  
Tel: 011-841-1161 (代表)  
Fax: 011-824-3141

### Letter from Hokkai-Gakuen University

March 1<sup>st</sup>, 2018

To whom it may concern:

I hereby certify that Mr. Atsunori Akaishi, born on (Osaka, Japan), is employed as Professor of the Faculty of Business Administration at Hokkai-Gakuen University, Sapporo, Japan. He is invited to teach at the University of Lethbridge, Alberta, Canada, as a visiting exchange professor for the Fall semester in 2018. He therefore requests a work permit issued by the Government of Canada.

I certainly guarantee that while he stays in Canada, Hokkai-Gakuen University pays him the regular monthly salary and that his status as a professor in Hokkai-Gakuen University is preserved completely.

When his class at the University of Lethbridge ends in December, 2018, he has to return to Sapporo, JAPAN and starts teaching his classes at Hokkai-Gakuen University from the 1st semester in April, 2019.

Sincerely yours,

  
Toshimasa Yasukata, Ph.D., Litt. D.

President  
Hokkai-Gakuen University  
Asahimachi-4-1-40, Toyohira-ku  
Sapporo, Hokkaido, JAPAN 062-8605  
TEL: +81-11-841-1161  
FAX: +81-11-824-3141  
E-mail: norihiro@hgu.jp

OFFICIAL SEAL



### レスブリッジ大学提供の書類

#### Contract

University of  
Lethbridge



President and  
Vice-Chancellor  
4752 University Hall  
4401 University Drive  
Lethbridge, Alberta, Canada  
T1K 3M4

Phone: 403.329.2201  
Fax: 403.329.7697

nik@uleth.ca  
www.uleth.ca

February 5, 2018

Atsunori Akaishi  
Professor, Faculty of Business Administration  
Hokkai-Gakuen University  
4-1-40, Asahimachi, Toyohira-ku  
Sapporo, Japan  
062-8605

Dear Professor Akaishi,

We are pleased to offer you the position of Visiting Exchange Professor with the University of Lethbridge. The terms and conditions of this offer are as follows:

1. The effective date of this appointment is September 5, 2018 until December 17, 2018. During this time you will be teaching IDST 2008A, Japanese Culture, for 3 hours per week.
2. The compensation will be \$50 per day paid in Canadian funds on the last day of every month in service. No other compensation will be paid during this term.
3. The University of Lethbridge will provide you with one regular economy round-trip air fare, Sapporo-Lethbridge return, and will provide one-half of one fare to assist in the travel expenses of a spouse, if accompanied, based on the standard air fare rate. The fare shall be paid, in Canadian funds, upon arrival to Lethbridge.
4. University housing (townhouse) shall be provided, free of charge. Charges for long distance telephone calls and all other personal expenses must be paid by the visiting professor. In the case that fixtures, appliances and other items provided in the townhouse are damaged or disposed of during the above mentioned term, compensation or the cost of repair, shall be made by the visiting professor.
5. Proof of extended Health Insurance must be provided to the Manager of the International Office upon arrival in Lethbridge.
6. Under the rules of the University of Lethbridge and directions of persons in charge, the visiting professor shall undertake obligations with sincerity and shall not conduct any activity except for the purpose of this appointment. If the visiting professor gives lectures, attends meetings, travels or conducts other activities outside the university he must submit a written document requesting permission for these activities from

Employer Letter

Professor Atsumori Akaishi  
Page 2

the University of Lethbridge. This does not apply to visiting friends, facilities and other places in and around the vicinity of Lethbridge.

- 7. If the visiting professor violates Canadian law and order, or acts in a disorderly or illegal manner, the University of Lethbridge may dismiss the professor.

Please sign both copies of this document and return one copy to the International Office at your earliest convenience. This will signify acceptance of the terms and conditions of the appointment outlined above.

  
 Mike Maillon, Ph.D.  
 President and Vice-Chancellor  
 University of Lethbridge

\_\_\_\_\_  
 Atsumori Akaishi  
 Professor  
 Hokkai-Gakuen University

*February 5, 2018*  
 \_\_\_\_\_  
 Date



International  
 4401 University Drive  
 Lethbridge, Alberta  
 Canada T1K 3M4  
 Phone: 1 (403) 329-2053  
 Fax: 1 (403) 382-7140  
 International@Uleth.ca

January 30, 2018

Atsumori Akaishi  
 Professor, Faculty of Business Administration  
 Hokkai-Gakuen University  
 4-1-40, Asahimachi, Toyohira-ku  
 Sapporo, Japan  
 062-8605

Dear Professor Akaishi,

We are pleased to offer you the position of Visiting Exchange Professor with the University of Lethbridge under the current Hokkai Gakuen/University of Lethbridge Faculty Exchange Agreement.

Classes will begin September 5, 2018 and end on December 17, 2018. During this time, you will be teaching IDST 2008A, Japanese Culture, for 3 hours per week.

We ask that you arrive approximately one week before classes begin, so that we can arrange for you to meet with Dr. Elisabeth Gerwin, who will be your faculty mentor, and prepare you with an orientation to teaching at the University of Lethbridge.

I look forward to meeting you this fall.

Sincerely,



Paul Pan  
 Executive Director  
 University of Lethbridge International

## Qualification Letter

University of  
Lethbridge



Faculty of Arts & Science

Office of the Dean

4401 University Drive  
Lethbridge, Alberta, Canada  
T1K 3M4

Phone: 403.329.2240  
Fax: 403.382.7114

LMIA 免除 \$230 の支払いレシート (コピー)

CITIZEN&IMM-EAPPS ENLIGNE - Monetis Solutions

Page 1 of 1

### TRANSACTION APPROVED - THANK YOU

Please print this page and keep it as your transaction receipt.

#### Payment Method

Transaction Total: \$230.00 (CAD)

Transaction Type: PURCHASE

Date / Time: 2018-02-22 12:49:45

Transaction Amount: \$230.00 (CAD)

Order ID: 0160678043

Card Number: \*\*\*\* \* 2468

Card Type: MC

Resp Code - Message: 027 - APPROVED \* =

Reference Number: [REDACTED]

Auth Code: [REDACTED]

Return

© Trade-mark of Interac Inc. Used under license

January 30, 2018

To whom it may concern,

The University of Lethbridge (UofL) is honoured to invite Atsunori Akaiishi as an exchange professor in Fall 2018. Atsunori Akaiishi is a Professor in the Faculty of Business Administration at Hokkai Gakuen University (HGU). He meets the qualifications specified in the current Hokkai Gakuen/University of Lethbridge Faculty Exchange Agreement.

In accordance with this Agreement, either HGU or Hokkai School of Commerce shall send one exchange professor to the University of Lethbridge each semester. While at the University of Lethbridge, the exchange professor teaches Interdisciplinary Studies 2008 (*Japanese Culture*), a course that enlightens students about the Japanese language as well as Japanese society, life and culture.

We look forward to Atsunori Akaiishi's arrival at the University of Lethbridge.

Sincerely,

Matthew G. Letts, Ph.D.  
Associate Dean

Subscribed Feb. 22 2018  
- File: AT-Summe I  
AKAI.SI



International

4401 University Drive  
Lethbridge, Alberta, Canada  
T1K 3M4

Phone 403.329.2053  
Fax 403.382.7140



UNews

Student Success   Research   Campus Life   Community



## University achieves highest-ever second place position in Maclean's University Rankings

1,029   46

The University of Lethbridge achieved its highest-ever position in the annual Maclean's University Rankings Report, placing second overall in the primarily undergraduate classification.

Moving up three spots from its fifth place ranking a year ago, the University bettered its previous best standing, a third-place ranking spot that it occupied for six consecutive years, 2013-2017. At the heart of the surge was the University's continued focus on investing in its students and pushing the boundaries of research across all disciplines.

"It's exciting to see the efforts of our faculty, staff and students recognized, because it takes our entire community



© University of Lethbridge. Photo: Dr. Billie Mahon, assistant and vice-chancellor. #UofL #Maclean's

[https://www.uleth.ca/unews/article/university-achieves-highest-ever-second-place-position-maclean%E2%80%99s-university-rankings#.X3\\_p8Wj7Tcs](https://www.uleth.ca/unews/article/university-achieves-highest-ever-second-place-position-maclean%E2%80%99s-university-rankings#.X3_p8Wj7Tcs)

Canadian Border Services Agency  
Calgary Airport Office  
2000 Airport Road North-East  
P.O. Box 167  
Calgary, AB T2E 6W5

August 16, 2018

To Whom It May Concern,

Re: Family Accompanying Visiting Professor

Professor Atsumori Akashi has been offered the position of Visiting Exchange Professor with the University of Lethbridge under the current Hokkai Gakuen/University of Lethbridge Faculty Exchange Agreement. The University of Lethbridge welcomes the family of Professor Atsumori Akashi to accompany him during his exchange semester. Prof. Akashi's family members are listed below:

[Redacted] (spouse)  
[Redacted] (child)  
[Redacted] (child)

The University of Lethbridge will provide housing to Prof. Akashi and his family during their entire stay in Lethbridge (August - December 2018).

Do not hesitate to contact me if you have any questions.

Sincerely,

Iratd Baquero  
Manager, International Student Services  
University of Lethbridge  
403-332-6184